

梅 檀

校内研修会が行われる

五月十日に、本年度初めての校内研修会が行われました。今回は、本村の教育の幹となる「学びの共同体」の理念と実際の授業についての研修会でした。本村教育委員会の宮城尚志教育長をお招きし、実際に授業をしてもらい、その後講話を賜りました。



他校からも多くの先生が参観しにきました



課題をグループで力を合わせ解決しようと取り組んでいる様子



学びの共同体は「一人残らず子どもたちの学びの権利

を実現」し、民主主義社会を準備するために、教室では協同的学びを推進しています。予測不可能な激動の社会を生き抜くためには、一人の力だけではなく、他者と協同しながら様々な問題を解決していく力が必要です。その力を養うために、授業では「きき合い」「支え合い」を大切にしたり、ペア・グループ活動を積極的に取り入れています。

研修会では、授業における教師の姿勢や、ペア・グループ活動の大切さなど、たくさんの方を教えていただきました

《結論I》 R3 5-10 辺土名小

1. 静かな学校創り
朝・授業・休み時間・放課後
「きき合う」を教師から手本を示そう
 - ♥ 言葉のトーンを下げる。
 - ♥ 言葉の重なりを排除する。
2. 授業にペアグループを取り入れる。
3. 自主学習の支援 [放課後・朝の時間]



朝の出来事

いつも、朝の安全見守りをしてくださる仲本さんに、一年生が「おはようございます。いつも交通安全ありがとうございます」とお礼を言っていました。その素直な言葉に感動したのと同時に、一年生でも「私たちの安全を見守ってくれている人がいる」ことがわかることに驚きました。この子どもたちのように、いろいろな人たちの気持ちがわかる人になってほしいですね。
仲本さんはとても喜んでいました。

二年生 商店街探検

二年生は五月十九日に辺土名商店には何があるのかを調べるために、探検に出かけました。先生が作った白地図の中に、子どもたちは街に何があるのかを埋めていきます。歩いている途中で、地域のたくさんの方が声をかけたり、手を振ってくれたりしてくれました。「この子たちはたくさんの人たちに見守られて育っているのだ」と感じました。あたたかい地域です。商店ではお菓子の差し入れがありました。ありがとうございました。



三年生 校外学習で漁港へ

五月二十日 三年生は学校から北側に何があるのかを調べるために、校外学習に行きました。途中、偶然にも漁港で「競り」をしているところを見学することができました。子どもたちはたくさんの魚を見て目を輝かせていました。漁協の皆さんありがとうございました。つづいていきます。

